

令和3年度下半期 水道事業・下水道事業の経営状況

(令和3年10月1日～4年3月31日)

水道事業・下水道事業は、複式簿記による公営企業会計で収支を管理しています。

経営状況は、表1～3のとおりです。

なお、複式簿記とは、ひとつの取り引きを原因と結果の二面から記録する会計方法です。

水道事業

水道事業基本計画で定めた、「安全な水道」、「災害時にも頼れる水道」、「持続可能な水道」を目標に、水質検査機器の買い換えや、管路網の耐震化を行いました。また、前年度に引き続き、深層地下水流动調査を実施しました。

企業債については、新たな借入金はなく、償還金370万円(利息を含む)を支払い、残高は0円となりました。

☆詳しくは、水道部業務課☎543-6111へ。

下水道事業

下水道の役割は、汚水の処理、雨水の処理、公共用水域の水質保全です。今後も下水道事業を安定的に継続していくため、下水道施設の長寿命化や耐震化に向けた改築更新の工事などを実施しました。

企業債については、9340万円を借り入れ、償還金2億7446万円(利息を含む)を支払いました。

☆詳しくは、下水道課へ。

表3 経理の状況(消費税抜き)

	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	* 営業収益 8億2295万円 水道料金による給水の収益など	* 営業費用 10億7017万円 原水及び浄水費、配水及び給水費、設備修繕費、減価償却費など	* 負担金 1149万円 工事経費のうち市や企業が負担する分など	* 建設改良費 6億5123万円 水道を安定して使用するための工事(長寿命化、耐震化)などの費用
	* 営業外収益 8149万円 預金利息、下水道使用料受託徴収収益など	* 営業外費用 27万円 企業債の借り入れ利息など		* 企業債償還金 360万円 企業債の元金
	合計 9億444万円	合計 10億7044万円	合計 1149万円	合計 6億5483万円
下水道事業	* 営業収益 10億3366万円 下水道使用料、雨水処理負担金など	* 営業費用 18億6156万円 下水道管などの維持費、汚水の処理負担金、減価償却費など	* 企業債 9340万円 * 他会計補助金 9033万円 一般会計補助金など	* 建設改良費 2億6334万円 下水道を安定して使用するための工事(耐震化)などの費用
	* 営業外収益 5億8327万円 預金利息、一般会計補助金、長期前受金戻入など	* 営業外費用 6961万円 企業債の借り入れ利息など	* 負担金 22万円 受益者負担金 * 補助金 315万円 国・都補助金	* 企業債償還金 2億5499万円 企業債の元金 * 投資その他資産 11万円 基金積立金
	合計 16億1693万円	合計 19億3117万円	合計 1億8710万円	合計 5億1844万円

※収益的収支とは、水道料金・下水道使用料による収入や、水道・下水道の安全な利用に必要な経費のことです。

※資本的収支とは、施設の改築・設置のために必要な経費のことです。

表1 水道事業・下水道事業の利用人口と有収水量

		3年度	2年度	前年度比
水道事業	給水人口	11万4067人	11万3541人	526人 (0.5%増)
	給水世帯	5万5976世帯	5万5271世帯	705世帯 (1.3%増)
	有収水量	613万6085m ³	618万14m ³	△4万3929m ³ (0.7%減)
下水道事業	配水量	635万6950m ³	641万2750m ³	△5万5800m ³ (0.9%減)
	接続人口	11万3372人	11万2803人	569人 (0.5%増)
	接続世帯	5万5637世帯	5万4917世帯	720世帯 (1.3%増)
	有収水量	778万5673m ³	789万9638m ³	△11万3965m ³ (1.4%減)

※有収水量とは、料金徴収の対象となる水量のことです。

表2 企業債(借入金)の現在高

	4年3月末	3年3月末	前年度比
水道事業	現 在 高 (元金)	0円	711万円 (100%減)
	給水人口 1人当たり	0円	63円 (100%減)
下水道事業	現 在 高 (元金)	38億9853万円	△4億1445万円 (9.6%減)
	接続人口 1人当たり	3万4387円	3万8235円 (10.1%減)

※企業債とは、施設の建設や改良のために借り入れるお金のことです。